

## 第6次白老町総合計画審議会（第6回）会議要旨

日時：令和元年11月29日（金）15:30～17:15

場所：白老町役場 第2会議室

出席者：岡田委員長、中野副委員長、北平委員、笠井委員、野瀬委員、牧野委員、宇津宮委員、宇佐見委員  
桑田委員 計9名

欠席者：倉地委員 計1名

事務局：【企画課】 工藤課長、温井主幹、安藤主任、金子主事、吉井主事 計5名

### 1. 開会

### 2. 報告

（1）総論・基本構想（案）の修正について

○事務局から説明（資料1）

質疑なし

### 3. 議事

（1）基本計画（案）の検討について

（2）町民満足度・成果指標の検討について

○事務局から説明（資料2、資料3）

各委員からの意見等（別紙1参照）

※意見等については事務局にて検討し、反映させていく。

### 4. その他

今後のスケジュールについて

12月中旬 第3回策定委員会（総論・基本構想（案）について）

12月下旬 第7回審議会（基本計画（案）について）

1月中旬 第4回策定委員会（基本計画（案）について）

1月下旬 町民説明会

2月中 パブリックコメント

3月中旬 第8回審議会（住民説明会及びパブコメの結果報告）

審議会答申

### 5. 閉会

別紙1—①（基本計画（案）の検討について）

【桑田委員】

- ・資料3の1—2 防災・減災の成果指標で自主防災組織結成率とあるが、実際に活動している団体はもっと少ない。実態を調査し、活動している組織数を成果指標として設定した方が良いのではないかと。
- ・成年後見人制度の利用者数を成果指標とすることは可能か。

【笠井委員】

- ・資料2・3の重点プロジェクト2の指標で納税者一人当たり所得を設定しているが、町の政策と所得額は関連性が薄いため、総合計画の指標としては適さないのではないかと。目標値についても、過去ではなく将来を見据えた数値にした方が良いのではないかと。

【宇津宮委員】

- ・資料2全体を通して、抽象的な政策や施策を掲載しているが、より具体的なものをもって議論を深めるべきではないかと。

【北平委員】

- ・資料2の重点プロジェクト1—（1）切れ目ない子育て支援の強化の説明文について、今の表現では、これから出産・子育てを控えている人に限定されているように感じる。
- ・放課後や休日等、学校以外の地域の中で、子どもがどう過ごしているかも重要ではないかと。教育機関に限定されている様な印象を受ける。

【牧野委員】

- ・資料2・3の重点プロジェクト2の成果指標で納税者一人当たりの所得の向上を目標値としているが、今後、生産年齢人口が減っていく中で、納税者一人当たりの所得は上がるのか。

【岡田委員長】

- ・資料2・3の成果指標の目標値について、数字だけが一人歩きして読み手に意図が伝わらないこともあるため、数字を示さない方がよいのではないかと。

【牧野委員】

- ・資料2・3の重点プロジェクト2の観光入り込み客数の目標値について、ウポポイ来場者の100万人の他、町内周遊観光客数等を積み上げたものになっているが、博物館の来館者数を持続できるか疑問を感じている。

【宇佐見委員】

- ・資料2・3の重点プロジェクト1の成果指標について、今の指標は、現在住んでいる人の視点しか入っていないことから、町外から転入してくる方などの視点が必要ではないかと。

【岡田委員長】

- ・資料2の重点プロジェクト1の1—（3）個別施策名が他の名称と比べ簡単な表現となっているため、具体的な表現にした方がよい。

別紙1-②（基本構想（案）の検討について）

【牧野委員】

- ・資料2の重点プロジェクト1の1-（4）「快適で安心な住環境の向上」とあるが、快適という表現は今後のまちづくりにおいて達成することが困難となる表現であるため、別の表現にした方が良い。

【中野副委員長】

- ・「快適」という表現について、人によって快適と感じる環境は異なるのではないか。